

# 1 ヒプロメロース

## 2 粘度及びpHの項を次のように改める。

### 3 粘度 (2.53)

4 (i) 第1法 本品の表示粘度が600 mPa・s未満のものに適  
5 用する。本品の換算した乾燥物4.000 gに対応する量を広口  
6 瓶に正確に量り、熱湯を加えて200.0 gとし、容器にふたを  
7 した後、かき混ぜ機を用いて均一な分散液となるまで毎分  
8 350～450回転で10～20分間かき混ぜる。必要ならば容器の  
9 器壁に付着した試料をかき取り、分散液に加えた後、10℃  
10 以下の水浴中で20～40分間かき混ぜながら溶解する。必要  
11 ならば冷水を加えて200.0 gとし、溶液中又は液面に泡を認  
12 めるときは遠心分離などで除き、試料溶液とする。試料溶液  
13 につき、 $20 \pm 0.1$ ℃で粘度測定法第1法により試験を行うと  
14 き、表示粘度の80～120%である。

15 (ii) 第2法 本品の表示粘度が600 mPa・s以上のものに適  
16 用する。本品の換算した乾燥物10.00 gに対応する量を広口  
17 瓶に正確に量り、熱湯を加えて500.0 gとし、以下第1法と同  
18 様に操作して試料溶液とする。試料溶液につき、 $20 \pm 0.1$ ℃  
19 で粘度測定法第2法の単一円筒形回転粘度計により、次の条  
20 件で試験を行うとき、表示粘度の75～140%である。

#### 21 操作条件

22 装置機種：ブルックフィールド型粘度計LVモデル

23 円筒番号、回転数及び換算乗数：表示粘度の区分で定め  
24 た以下の表に従う。

表示粘度 (mPa・s)		円筒 番号	回転数 /分	換算 乗数
600以上	1400未満	3	60	20
1400以上	3500未満	3	12	100
3500以上	9500未満	4	60	100
9500以上	99500未満	4	6	1000
99500以上		4	3	2000

25 装置の操作：装置を作動させ、2分間回転させてから粘  
26 度計の測定値を読み取り、少なくとも2分間停止する。  
27 同様の操作を2回繰り返し、3回の測定値を平均する。

28 pH (2.54) 粘度試験の試料溶液を5分間放置した液のpHは  
29 5.0～8.0である。

30

31